

こまえ平和フェスタ2006

600余名の参加者、190名の出演者で「平和」を発信

「こまえ平和フェスタ 2006」(7月22日開催)は、「平和憲法を広める狛江連絡会」が、まず、推進役となり、狛江市と市民が協働で準備を進めてきました。2回目の今年も、盛会のうちに幕を閉じることができました。出演者の人数、演目の種類も増え、出演の年齢層の幅もぐんと広がったというのが今年の特徴でした。

ロックソーラン隊の募集に応じて集まった子どもたちは50名近く、中高生たちも指導に加わって元気いっぱいの踊りを繰り広げました。

講演して下さった小山内美江子さんは、カンボジアに学生たちと行って学校を作るなどのボランティア活動をする中で体験されたことを次のように訴えられました。

一現地の人から「あなたのところの憲法は戦争しちゃあいけないと書いてある。若者は戦争に行かなくてすむから良いね。」と言われ、若い学生たちは、九条のある日本のありがたさを外地で認識するようだ。九条が変えられれば、日本の子どもがこの先、外国の人を撃ち殺すことになる一。

戦争中、動物園の動物たちも軍の命令で殺さなければならなかったことを描いた合唱構成劇「ぞうれっしやがやってきた」は、市民と子どもたちで作

る合唱団に狛江高校演劇部の生徒と市長の熱演も加わって、戦争の理不尽さ、悲しさが会場の皆の胸にひたひたと押し寄せてきているように思えました。

日頃から練習を重ねてきた各市民サークルの皆さんや市内の専門家による朗読、合唱、太鼓、ピアノ演奏、公募で集まった方たちの平和フェスタ合唱団の手話コーラス等、それぞれの形で、「平和への思い、命の鼓動を狛江から世界へ」との勢いで発信した日でした。

ロビーでは、「戦争で犠牲になるのはだれ？」をテーマに東京大空襲や沖縄戦、イラク戦の写真パネル、狛江の空襲を描いた市民の絵などを展示しました。

市と実行委員会の協働、多くの方々の物心両面でのご協力があったからこそ催すことのできた平和フェスタでした。

考えてみれば、出演者のほとんどは平和憲法のもとで生まれ、あたりまえのようにその空気を吸って育ち、暮らしてきている人たちです。

今、「平和」ということばが軽んじられ、退けられ始めている社会、政治の状況です。楽しい平和フェスタのすき間を縫って逆流がすべてを呑み込んでいかないと不安になります。すき間ができないよう、来年は更に幅広く多くの人の参加するフェスタにしたいものと思います。今後ともご支援宜しく願いいたします。

当日のプログラム、アンケート、出演者の感想の一部を掲載し報告の一助とさせていただきます。

(寺尾 安子記)

《アンケートより》

(総合)

- ・コーラス、和太鼓、ピアノ演奏、詩の朗読、ソーラン踊り、ぞうれっしゃが行く、小山内さんの講演と とても盛りだくさんの内容で、どれも平和への熱い思いが込められていて、とてもすばらしい平和フェスタでした。
- ・狛江の文化の高さと協力の輪のすばらしさを思いました。多方面での出演者もそれぞれ個性と気持ちが出て伝わって、共に平和の大切さを思いました。私も地元で九条の会はじめ、ひととのコミュニケーション作りに頑張ります。共にやりましょう。戦争のない平和な地球のために。

- ・市民と行政が一緒になってこのような催しをなさっていることに感激しました。それぞれのステージもみな素晴らしかったのですが、小山内さんのお話が印象的でした。

- ・今、憲法9条が世界の宝になっています。それを変えようとしています。私は、九条を守ることを望みます。このような平和フェスタを来年もやってもらいたいと思います。

(朗読「狛江市平和都市宣言」)

- ・特に狛江市の平和都市宣言の朗読は良かった。憲法の前文と九条が書かれていることをもっと市民に知らせて欲しい。

(講演「子ども達に平和な未来を」)

- ・東京大空襲などは良く知っていましたが、狛江が空襲にあったことは知りませんでした。小山内先生のお話、もっと伺いたかったです。

- ・小山内さんの講演、とても楽しく心打たれるものでした。若者達が「日本で素晴らしい」と実感した時、国を愛する心が芽生える、その通りです。

(演目から)

- ・力強く舞うがごとくの跳鼓舞の和太鼓、心が躍ります。群舞を思わせるような金太の会のバチさばきの素晴らしさ。

- ・とても楽しかったです。太鼓のリズムと音の響きは、体をゆすり、平和への熱い思いが伝わってきました。

- ・和太鼓やロックソーランでは若い世代達のパワーをもらいました。楽しかったです。

- ・ロックソーランは、小さい子どもから大人まで大勢が一体となって踊る姿が素晴らしかったです。希望すればどなたでも参加できるのはありがたいです。

- ・朗読では、涙を禁じ得ませんでした。
- ・美しいピアノの音を心安らかに聞くことができる幸せをかみしめています。
- ・「ぞうれっしゃがやってきた」では、園長役で市長さんが登場されたのにはびっくりしました。今、平和憲法9条を守るために狛江市民が更に手を携えて頑張っていけたらよいと思いました。

<次回「平和フェスタ」に望むこと>

- ・今回と同じようなものでいい。
- ・戦争を知らない人たちが質問できるようにしては。
- ・折角の催し、聴衆がもう少し多ければと思った。市民にいかに知らせるか考えて欲しい。

<平和へのメッセージ>

- ・戦争を知らない若い世代へ語り継ぐことの大切さと難しさを感じます。このようなイベントの必要性を感じました。
- ・子供達の生き生きとした姿を見ると、この子達には絶対に戦争のない世界に生きて欲しいと痛感しました。そして、大人が何をすべきか？小山内先生の言葉が印象的でした。
- ・どんな理由をつけても戦争はいいはずがない。だから憲法を変えて戦争し易くするなんていうのは絶対おかしい。九条をいつまでも守り続けて見せるといふ戦う姿勢を。戦争を起こすのも人間なら止める努力のできるのも人間。

**「こまえ九条の会」発足一周年学習会
「すっきり分かる米軍再編」**

10月29日(日) 1時～4時半
西河原公民館

*ピラを同封しています。

戦争は、軍部の暴走にも大きな要因があります。今、このことを学ぶことが武力に歯止めをかけるために大切です。ぜひ、ご都合をつけてご参加下さい。

**こんな本も出ています！
読んでみてください！**



**日本国憲法を広く紹介する映画
ぞくぞく製作 ご支援を**

*ドキュメンタリー映画

「シリーズ憲法と共に歩む」

第1篇 戦争をしない国日本(仮題)

製作委員会(9月完成予定)

(株)法学館(伊藤真氏館長)

法学館憲法研究所

青銅プロダクション

TEL03(3350)0267

fax03(3352)2922

info@filmkenpo.net

*映画「日本の青空」

日本国憲法公布60周年記念

監督・大沢 豊 脚本・池田 太郎

世界の宝・日本国憲法は

こうして作られた

製作委員会

事務局 中央区築地2-10-4-8F

fax 03-3549-0617

info@cinema-indies.co.jp



お詫び

前号のニュースレター発送に際しこちらの手違いで、一部の地域でお届けが大変遅れましたことをお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう気をつけていきたいと考えておりますので今後とも宜しく願いいたします。なお、ニュースレターに関するご意見ご感想などありましたら遠慮なく世話人までお知らせください。

お手伝いくださる方をいつも募集しておりますので、ご連絡くだされば幸いです。